

---

## 特別展 響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで の開催

---

### 1. 展覧会の概要

宮城県美術館は1981(昭和56)年に宮城県仙台市に開館しました。以来、継続的な収集活動により、現在は7,000点を超える作品を収蔵しています。本展では、明治から昭和に至る近代絵画を中心に、同美術館のコレクションを代表する作品74点を紹介します。

(宮城県美術館は2025年度中にリニューアルオープン予定)

#### ◆会期、会場など

会 期：2024年10月5日(土曜)～2025年1月26日(日曜)

会 場：神戸ゆかりの美術館 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1

電 車：JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

バ ス：阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分

※車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

休 館 日：月曜日(ただし10月14日、11月4日、2025年1月13日は開館)、10月15日、11月5日、12月29日～1月3日、1月14日

開館時間：午前10時から午後5時(入館受付は午後4時30分まで)

◆主催 神戸ゆかりの美術館、宮城県美術館、朝日新聞社、神戸新聞社

◆共催 神戸ファッション美術館

◆協力 カトーレック株式会社

#### ◆入館料

一般：1,200(1,000)円／大学生：600(500)円／高校生以下無料(学生証などをご提示ください)

※( )内は20名以上の団体料金

●神戸市在住の65歳以上の方は、年齢と住所が証明できるもののご提示で600円

●障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」などのご提示で無料

●小磯記念美術館、神戸ファッション美術館の入館券(半券)をお持ちの方は団体割引料金

## ◆展覧会の構成と主な出品作品（※作品はすべて宮城県美術館蔵）

### 1. 洋画の夜明けと展開

宮城県美術館のコレクションの原点である、宮城県令の委嘱によって描かれた高橋由一の《宮城県庁門前図》をはじめ、東北ゆかりの萬鉄五郎、吉井忠、松本竣介ら時代を代表する画家たちによる、明治から昭和戦前期までの日本洋画を紹介します。



高橋由一《宮城県庁門前図》1881年

### 2. 「気まぐれ美術館のあの絵も！」

洲之内コレクションは、「現代画廊」の画廊主にして、エッセイ「きまぐれ美術館」で知られる、作家の洲之内徹が残したコレクション。洲之内が決して手放さなかった伝説的な名品やコレクターとして光を当てた画家たちの絵が含まれています。

・ 鬨光、海老原喜之助、長谷川湊二郎ほか



長谷川湊二郎《猫》1966年

### 3. カンディンスキー、クレーと表現主義の画家たち

宮城県美術館は、カンディンスキーとクレーの国内有数のコレクションを所蔵しています。

ミュンヘンの芸術家グループ「青騎士」やバウハウスで共に活動した二人は、20世紀の新しい美術を切り開き、後の多くの芸術家に影響を与えました。二人の作品に加えて、関連の深いドイツ表現主義の作品などをあわせて紹介します。



パウル・クレー  
《グラジオラスの静物》1932年

### 4. 広がる戦後絵画

戦後の日本美術をリードした画家たちの作品を紹介します。一大潮流となった抽象絵画、社会問題に切り込んだ作品、関西の前衛グループ「具体」の作家たちなど、激動の時代に大きな足跡をのこした画家たちの作品を紹介します。

・ 桂ゆき、村井正誠、田中敦子ほか



桂ゆき《婦人の日》1953年

## 2. 会期中のイベント

(1) 講演会 11月16日（土曜）午後1時30分～午後3時（予定）

「宮城県美術館コレクションで編む近代美術史—その魅力」

講師：加野恵子氏（宮城県美術館 学芸部長）

会場：神戸ファッション美術館 4階 第1セミナー室（開場は午後1時～）

当日先着順、定員90名

参加費は無料ですが、当日使用できる観覧券が必要です。

(2) 赤ちゃん家族の日

「赤ちゃん家族の日」 10月10日、11月14日、12月12日、1月9日 いずれも木曜日

■未就学のお子様を連れて大人の方2名まで団体割引料金でご入館いただけます。

■ベビーカーなどをご持参ください。事前申し込みは不要です。1階に授乳室があります。

○当日、午後1時から約20分間「赤ちゃん家族でトーク」を行います。

申し込み不要、先着5組まで。参加される方は受付前に集合してください。学芸員と一緒に  
展覧会を鑑賞します。

(3) 解説会 学芸員による展覧会の解説 午後2時から約30分間 映像室にて

10月12日(土曜)、10月13日(日曜)、11月9日(土曜)、11月10日(日曜)、12月7日(土曜)、  
12月8日(日曜)、12月21日(土曜)、12月22日(日曜)、1月18日(土曜)、1月19日  
(日曜)

・定員40名、当日先着順 参加費は無料ですが、当日使用できる観覧券が必要です。

**※展覧会のイベントは、変更することがあります。詳しくは美術館HPで最新の情報をご確認ください。**